

鉱山・会社・行政の3つのPDCA

- 目標：死亡災害、重篤災害を無くす(目標1)
- ：同じ鉱山で5年で複数の災害を起こさない(目標2)

行政のPDCA

- 民間の自主性を活かした新たな鉱山保安への取組みによって更なる保安水準の向上を図るとともに、より効率的な産業保安行政を推進する。
- 当面の重点目標：目標1及び目標2の実現に向け、当面のターゲットを中小鉱山に置き、「中小鉱山でも実施可能なリスクマネジメント」の定着を図ることを重点的に実施する。

Plan

重点的に以下に取組み、会社や鉱山等の民間活動を側面支援する。

- ① 鉱山評価制度
- ② 保安指導員制度
- ③ 会社トップに対するリスクマネジメントの取組に関するヒアリング
- ④ リスクマネジメント研修及びその教材の充実
- ⑤ 鉱山・会社・行政の3つのPDCAの考え方の共通認識

Act

Check

- 制度審査部会で
 - ・ 目標の達成状況について目標1、2の指標でチェックする。チェックは全鉱山と中小に分けて行う。
 - ・ 鉱山評価制度で評価されるRM取組の変化状況
- Plan実施状況のチェック
- ・ 活動結果の内容

Do

会社のPDCA の例(管理部門)

- 会社の環境の変化に対応し、適切な安全目標を構築し達成する活動を行える仕組みの構築。

Plan

目標に向け、安全活動を経営の重要事項と定め、安全向上に関し、自主的に改善され、目標達成を実現する制度、計画を策定する。

Act

Check

- Plan実施状況のチェック
- 活動成果の評価
- 活動の有効性の評価
- ・ 人員、予算は適正か等。

Do

鉱山のPDCAの例(現場部門)

- 目標1、2を意識しつつ、それぞれの鉱山にあった目標を設定。

Plan

目標に向け以下の活動を実施する。実施結果は、次期保安対策の立案改善に活用し、保安規程などの規定にも反映させる。

- ① 目標達成に影響を与えるリスクの把握を行う
- ② リスク対策の効果を検証し、対策の十分性を確認する
- ③ 上記の計画を達成するための教育・訓練計画の策定、ならびに外部技術の活用を図る

Act

Check

- 目標が達成されているか
- Plan実施状況のチェック
- ・ 活動成果の評価
- ・ 活動の有効性の評価
- ・ 保安規程などの対策立案への反映状況
- ・ 反映内容の鉱山労働者への周知状況等